

兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 6号)

2021年12月 3日発行
 兵庫のに研究所

この海域では依然大型珪藻コシノディスカスが見られますが、発生量は減少しています。コシノディスカスが減少したことやまとまった降雨もあり、窒素は西浦海域で概ね2 μg-at/L台、南浦海域で1 μg-at/L台、東浦海域で概ね2~3 μg-at/L台の値と前回よりもやや上昇しています。

(珪藻・栄養塩)

各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。

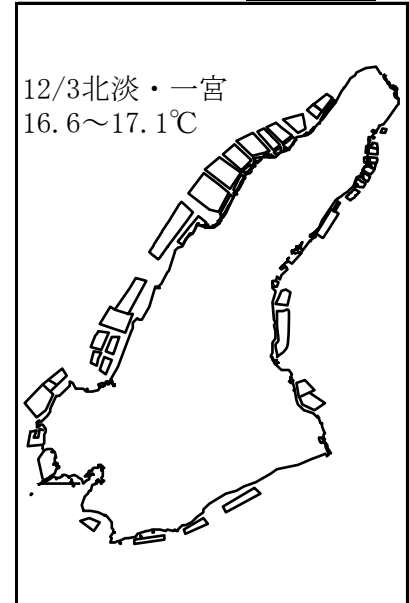
東浦：100~150細胞(前回値：500~600細胞)

西浦：20~100細胞(前回値：400~650細胞)

南浦：100~300細胞前後(前回値：400~700細胞程度)

西浦では、大阪湾水の影響が見られる室津浦以北で2~3 μg-at/L台、尾崎以南では1 μg-at/L台後半の値であった。都志・鳥飼は陸水の影響等により栄養塩の値が特異的に高くなっている。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.5	2.9	5.9	3.9
	リン	0.45	0.50	0.57	0.54
西浦地先	窒素	1.3	2.6	6.1	2.8
	リン	0.57	0.63	0.64	0.57
南浦地先	窒素	1.4	1.6	5.6	3.5
	リン	0.41	0.47	0.64	0.65

(11/29)

(12/2)

栄養塩(窒素) 図

2021年12月 3日調査

